2022年度　授業シラバス

科目名	コミュニケーション技法	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
コミュニケーションゲームを通して、人と話すのに必要な力を身につける

【到達目標】
個人個人のコミュニケーション能力の向上を目的とする。

【教員の略歴】
芸能プロダクション所属　俳優・お笑い・ラジオDJなどマルチに活動

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介		①	コミュニケーションゲーム（テーマトーク）	
②	コミュニケーションゲーム（会話力を高める）		②	コミュニケーションゲーム（テーマトーク）	
③	コミュニケーションゲーム（会話力を高める）		③	コミュニケーションゲーム（テーマトーク）	
④	コミュニケーションゲーム（会話力を高める）		④	コミュニケーションゲーム（テーマトーク）	
⑤	コミュニケーションゲーム（会話力を高める）		⑤	コミュニケーションゲーム（グループワーク）	
⑥	コミュニケーションゲーム(説明力を高める）		⑥	コミュニケーションゲーム（グループワーク）	
⑦	コミュニケーションゲーム(説明力を高める）		⑦	コミュニケーションゲーム（グループワーク）	
⑧	コミュニケーションゲーム(説明力を高める）		⑧	コミュニケーションゲーム（グループワーク）	
⑨	コミュニケーションゲーム(説明力を高める）		⑨	コミュニケーションゲーム（グループワーク）	
⑩	前期試験		⑩	コミュニケーションゲーム（グループワーク）	
⑪	コミュニケーションゲーム（質問力を高める）		⑪	後期試験	
⑫	コミュニケーションゲーム（質問力を高める）		⑫	コミュニケーションゲーム（伝えたいトーク）	
⑬	コミュニケーションゲーム（質問力を高める）		⑬	コミュニケーションゲーム（伝えたいトーク）	
⑭	コミュニケーションゲーム（質問力を高める）		⑭	コミュニケーションゲーム（伝えたいトーク）	
⑮	前期まとめ		⑮	振り返り	

準備学習 時間外学習	本をたくさん読んでください。	評価方法	試験・出席率・授業態度・課題
受講生へのメッセージ	難しい事はやりません、楽しくフリートークを学んでいきましょう	使用教科書 教材 参考書	ホワイトボード

2022年度　授業シラバス

科目名	ヴォイス＆ボディトレーニング	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
発声の為の身体訓練…ストレッチ・筋肉トレーニング・中心呼吸・身体の姿勢とバランストレーニング

【到達目標】
・自身の身体を知り、表現者として芝居（演技・発声）に必要な身体の土台を作る。

【教員の略歴】
プロのアーティストとして様々な作品に出演。演出などを手掛けている。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	身体の説明　①骨格説明		①	身体の創作　ペアコンタクト	
②	身体の説明　②筋肉説明		②	身体の創作　ペアコンタクト	
③	呼吸の説明　①腹式説明		③	身体の創作　グループコンタクト	
④	呼吸の説明　②腹式チェック		④	身体の創作　グループコンタクト	
⑤	身体の訓練　①アイソレーション・ウォーキング		⑤	ダンスのワーク　コンビネーション	
⑥	身体の訓練　②ストレッチ・ウォーキング		⑥	ダンスのワーク　コンビネーション	
⑦	身体の訓練　③筋肉トレーニング・ウォーキング		⑦	ダンスのワーク　コンビネーション	
⑧	動きのワーク　エクササイズと発声		⑧	ダンスと歌　歌いながら踊る	
⑨	動きのワーク　エクササイズと発声		⑨	ダンスと歌　歌いながら踊る	
⑩	動きのワーク　エクササイズと発声		⑩	ダンスと歌　歌いながら踊る	
⑪	発声・姿勢・体重移動チェック		⑪	発声・ダンスコンビネーション	
⑫	リズムのワーク　ビートトレーニング・Barレッスン		⑫	身体と言葉の創作	
⑬	試験	前期試験	⑬	試験	後期試験
⑭	リズムのワーク　ステップとの組み合わせ・Barレッスン		⑭	身体と言葉の創作	
⑮	リズムのワーク　ステップとの組み合わせ・Barレッスン		⑮	身体と言葉の創作	

準備学習 時間外学習	各自、腹筋と背筋・ストレッチ	評価方法	試験、出席率、授業態度、取り組み方。毎回の課題習得度を総合的に評価します。
受講生へのメッセージ	スカート不可、ストレッチが可能で身体のラインが見える服装 シューズは無し	使用教科書 教材 参考書	バーレッスンのため、バレエBar 各自すべり止め付の靴下 身体のラインが見える服装

2022年度　授業シラバス

科目名	声優演習	必修選択	必修	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120（8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
演技における感情表現、コントロールの技術を訓練し、より複雑で、表現力豊かな実践的演技を身につける。

【到達目標】
常に主体性を持ち、あらゆるシーンに対応できる表現力の向上。

【教員の略歴】
小劇場から商業演劇、ミュージカル、オペラ、イベントMC、ナレーションまで幅広く携わる俳優・演出。
NMB48、よしもとアクターズ、ワタナベエンターテインメント、キャレスアーティストコース等、幅広く分野で演技講師も担当。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介・自己プレゼンテーション3		①	自己紹介・自己プレゼンテーション4	
②	シアターゲーム・エチュード5		②	シアターゲーム・エチュード7	
③	シアターゲーム・エチュード6		③	シアターゲーム・エチュード8	
④	テキストワーク・読み合わせ		④	テキストワーク・最初から結果を出す	
⑤	テキストワーク・段取り、アウトライン2		⑤	テキストワーク・現場における指示理解度の重要性	
⑥	テキストワーク・演技のディテール2		⑥	テキストワーク・行間こそ真の言葉	
⑦	テキストワーク・行間の読み方2		⑦	テキストワーク・行間こそ真の言葉2	
⑧	テキストワーク・グループワークの意義2		⑧	テキストワーク・ただ物語に生きる	
⑨	テキストワーク・自分の魅力を知る2		⑨	テキストワーク・ただ物語に生きる2	
⑩	テキストワーク・現場で必要とされるには3		⑩	テキストワーク・いい役者と使える役者の違い	
⑪	テキストワーク・現場で必要とされるには4		⑪	テキストワーク・いい役者と使える役者の違い2	
⑫	テキストワーク・総合演劇力3		⑫	試験	
⑬	試験		⑬	試験予備	
⑭	試験予備		⑭	後期まとめ	
⑮	前期まとめ		⑮	プロとして生きるとは	

準備学習 時間外学習	必要に応じて、指定個所のセリフを覚えてもらう場合があります。	評価方法	学期ごとの試験、授業内で獲得した演技のスキルを、自分の演技に反映できているか。また、授業中の取り組む姿勢。出席率。
受講生へのメッセージ	表現の基礎を踏まえた上で、実践的なレッスンを予定しています。 上手さは後から付いてきます。 先ずは現場で使われる人材を目指して、精進しましょう。 学生さんのレベルに応じて負荷のレベルも変えていきます。	使用教科書 教材 参考書	動きやすい服装・筆記用具・飲料水・台本(コピーしたものを配布)

2022年度　授業シラバス

科目名	アテレコ・アフレコ	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

・アテレコの実践　・マイクを効果的に使った表現方法　・発声滑舌
・キャラクター作り　・台本読解
・スタジオマナー

【到達目標】

・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。
・体と心を使い、さらに立体的な声の演技の習得。
・即戦力となる声優を目指す。

【教員の略歴】

東京：声優プロダクションにて声優、マネージャーとして活動。
大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	アテレコ用語・マイクワークの習得		①	アテレコ③・演習	
②	アテレコ①・キャスティングオーディション		②	アテレコ・③本番　録音	
③	アテレコ①・読み合わせ		③	アテレコ・③本番　録音	
④	アテレコ①・演習		④	アテレコ③(キャスト変更)・演習	
⑤	アテレコ①・REC		⑤	アテレコ・③本番　録音	
⑥	アテレコ①・REC		⑥	アテレコ・③本番　録音	
⑦	アテレコ②・キャスティングオーディション		⑦	アテレコ④・キャスト発表	
⑧	アテレコ②・演習		⑧	アテレコ④・演習	
⑨	アテレコ②・REC		⑨	アテレコ④・演習	
⑩	前期試験		⑩	アテレコ④・演習	
⑪	アテレコ③・キャスティングオーディション		⑪	後期試験	
⑫	アテレコ③・キャスティングオーディション		⑫	アテレコ④・演習	
⑬	アテレコ③・読み合わせ		⑬	アテレコ④・本番　録音	
⑭	アテレコ③・演習		⑭	アテレコ④・本番　録音	
⑮	アテレコ③・演習		⑮	アテレコ総括	

準備学習 時間外学習	アクセント・滑舌練習は言うまでもなく、物語・キャラクターの解釈をしたうえで、演じるキャラクターが「なぜ」その言葉を発するのか考える。 一度ダメ出しされた事を繰り返さない。考えてきた事を、形にできるように復習してくる事。ボイスレコーダーで録音し、自分の演技を客観的に聞く。	評価方法	試験・各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め評価する。 テストはオンエアされている作品レベルを基準とする。 それでに対しどのレベルまで達成できているかで採点する。
受講生へのメッセージ	長所をプロで通じるレベルの武器に。 足りていない部分は、どう満たしていくのか。 ヒントは毎回のレッスンにあります。 自分で工夫して、考えて、行動して、結果を実感していきましょう。	使用教科書 教材 参考書	・アテレコ台本(授業時に配布)　・アクセント辞典 『実習』日…マイクを3本使用 『REC』日は下記録音機材を使用 （R44、SDカード、マイク3本、マイクケーブル3本、標準ピン2本） 記載のない日は機材の準備の必要なし

2022年度　授業シラバス

科目名	演技演習	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
舞台を制作から出演まで自分たちで考えて実践する

【到達目標】
舞台制作のノウハウを習得し、自ら表現できる場所を生み出す力を育てる

【教員の略歴】
舞台俳優・脚本・演出の仕事を26年。現在は劇団の代表も務める

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	舞台制作から発表までを企画する		①	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター（撮影2）	
②	舞台発表にむけて（台本の読み合わせ）		②	舞台　課題作品　制作ミーティング	
③	舞台発表にむけて（キャストオーディション）		③	舞台　課題作品　本読み	
④	舞台発表にむけて（読み合わせ・稽古）		④	舞台　課題作品　キャストオーディション	
⑤	舞台発表にむけて（本格的な稽古に入る）		⑤	舞台　課題作品　稽古・シーン1～3	
⑥	舞台発表にむけて（各シーンごとに稽古）		⑥	舞台　課題作品　稽古・シーン4～6	
⑦	舞台発表にむけて（前半の通し稽古）		⑦	舞台　課題作品　稽古・シーン7～10	
⑧	舞台発表にむけて（後半の通し稽古）		⑧	舞台　課題作品　パート別レッスン	
⑨	舞台発表にむけて（リハーサル）		⑨	舞台　課題作品　稽古・シーン11～13	
⑩	舞台発表にむけて（ゲネプロ）		⑩	舞台　課題作品　稽古・シーン14～16	
⑪	舞台発表・本番		⑪	舞台発表　通し稽古	
⑫	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター		⑫	舞台発表　リハーサル　試験	後期試験
⑬	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター（リハ）　試験	前期試験	⑬	舞台発表　　ゲネプロ	
⑭	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター（リハ）		⑭	舞台発表　本番	
⑮	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター（撮影1）		⑮	総評	

準備学習 時間外学習	たくさん芝居を観てください。	評価方法	試験・出席率・授業態度を総合的に評価します
受講生への メッセージ	芝居のことばかり考えている、そんな一年にして下さい。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	オーディション対策	必修 選択	必修	年次	2	学科	声優科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

自己プロデュース能力を高め、声優・役者・タレントとしての自分の魅力を、客観性を持ちながら戦略的に伝える術を身につける。
また、一人ひとりの個性を活かしより豊かな自身の形成の為、何が必要か、何が足りていないかを自覚し身につけていくための習慣を考え、実践する。

【到達目標】

・自分のセールスポイントや強みを認識し、伸ばす。・様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。
・オーディションに向け、ボイスサンプル・プロフィール作成・コンポジ対策・面接対策を行う。

【教員の略歴】

東京：声優プロダクションにて声優、マネージャーとして活動
大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	新人発掘プレゼンテーション対策①		①	合同オーディション実技・自己PR②	
②	新人発掘プレゼンテーション対策②		②	合同オーディション実技・自己PR③	
③	新人発掘プレゼンテーション反省		③	合同オーディション実技・自己PR④	
④	ボイスサンプルについて		④	合同オーディション反省・進路相談	
⑤	ボイスサンプル実習		⑤	3次オーディション対策・進路相談①	
⑥	ボイスサンプル原稿作成・実習①		⑥	3次オーディション対策・進路相談②	
⑦	ボイスサンプル原稿作成・実習②		⑦	卒業後の住まい・生活(東京の地理など)	
⑧	ボイスサンプル原稿作成・実習③		⑧	3次オーディション対策・進路相談③	
⑨	ボイスサンプル原稿作成・実習④		⑨	さまざまなオーディション実習①	
⑩	ボイスサンプル原稿・音源提出		⑩	さまざまなオーディション実習②	
⑪	ボイスサンプル実習	前期試験	⑪	オーディション　模擬試験	後期試験
⑫	自己分析・応募書類の書き方①		⑫	さまざまなオーディション実習③	
⑬	自己分析・応募書類の書き方②		⑬	さまざまなオーディション実習④	
⑭	合同オーディション実技・自己PR①		⑭	社会人としてのマナー	
⑮	前期　まとめ		⑮	卒業後に向けて	

準備学習 時間外学習	自己PR、ボイスサンプルともに、早め早めの準備を。 随時学内オーディションに対応するので、該当学生は下読みなどしてくる事。	評価方法	実習での取り組み姿勢 提出物の内容、期限内提出 発表内容 出席率 試験
受講生へのメッセージ	今のあなたの中からしか、今のあなたしかないものは生まれません。 とにかく何か考えて作ってみて下さい。中途半端でも不細工でも構いません。そこから、一人一人がより良い形を作れるようにしていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	原稿作成や、自己PR案相談中は個々の対応時間が多くなる為、各自自習や原稿作成の材料などを用意して時間を有効活用すること。

2022年度　授業シラバス

科目名	ナレーション	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

ナレーションは声そのものを磨くボイストレーニングと、その声でどういう読み方をするかという技術を身に付ける事が大切です。ナレーションに必要なアナウンスの基礎を講義と実践を通して学びます。特に伝える技術を中心にして講義します。そして、声の高低、強弱、緩急を操り、表現するという面白さを学びましょう。また、標準語アクセントの習得、及び、国語力の習得を目指した「話す」ということを1年間を通して学んで行きます。

【到達目標】

ニーズに合わせたナレーションが読めるようになる。

【教員の略歴】

フリーアナウンサーとして活動。主にラジオのニュースやケーブルテレビの司会を長く務める。また、式典から各種イベントまで、様々なMCも経験。アナウンサーや声優などの講師も務める。近年では子供のアクティブラーニングから、大人のボイストレーニング・話し方まで、その幅を広げている。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介・アクセント辞典の使い方		①	リポート・MC台本①	
②	ボイストレーニング①・基礎理論①		②	リポート・MC台本②	
③	ボイストレーニング②・基礎理論②		③	ドキュメンタリーナレーション①	
④	ボイストレーニング③・基礎理論③		④	ドキュメンタリーナレーション②・音楽に合わせて	
⑤	ボイストレーニング④・基礎理論④		⑤	朗読・群読①	
⑥	お知らせ・告知ナレーション①・天気予報		⑥	朗読・群読②	
⑦	お知らせ・告知ナレーション②		⑦	朗読・群読③	
⑧	20秒CM練習①		⑧	番組ナレーション①	
⑨	20秒CM練習②		⑨	番組ナレーション②	
⑩	アナウンス基礎の確認・実技テスト	前期試験	⑩	番組ナレーション③	
⑪	ニュースの基礎①・ショートニュース①		⑪	ニュースのまとめ・実技テスト	後期試験
⑫	ニュースの基礎①・ショートニュース①		⑫	手紙・挨拶①	
⑬	ニュースの基礎②・ショートニュース②		⑬	手紙・挨拶①	
⑭	ニュースの基礎②・ショートニュース④		⑭	手紙・挨拶③	
⑮	話題・スポーツニュース		⑮	1年のまとめ・DVD鑑賞	

準備学習 時間外学習	ストレッチや発声など、毎日少しずつでも良いので習慣にしてください。またテレビやラジオなど、意識して聞いてください。アクセントなど、疑問に思ったら、すぐに調べることが大切。	評価方法	出席・授業態度、実技試験で評価します。
受講生へのメッセージ	ナレーションの基礎は「話す」ということにあります。友達と話すとき、アルバイト先で話すとき、常に意識して美しい日本語を使いましょう。まずはプロになる自覚、意識を持つことです。	使用教科書 教材 参考書	NHKアクセント辞典・基礎プリント(坂下オリジナル、約15枚組)

2022年度　授業シラバス

科目名	ラジオパーソナリティー	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

ディレクターの指示の理解、対応力、原稿の読解力、それぞれの個性を生かした読み方、テクニックなど、基礎力+応用力で音声だけのラジオに合わせた表現力をつける。

【到達目標】

ラジオパーソナリティーとしての即戦力となる技術を身につける。

【教員の略歴】

AMやFMパーソナリティを歴任、ラジオCMナレーションも多数出演。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション（概要説明）		①	ラジオパブ①（原稿読み）	
②	ラジオコマーシャル全体①（主観で聴く）		②	ラジオパブ②（表現力）	
③	ラジオコマーシャル全体②（表現について）		③	ラジオパブ③（客観的に聴く）	
④	ラジオコマーシャル全体③（表現・技術）		④	ラジオパブ④（自己分析・評価）	
⑤	ラジオコマーシャル全体④（自分で作る）		⑤	ラジオパブ⑤（統括・実習）	
⑥	ラジオコマーシャル全体⑤（評価・発表）		⑥	ラジオショッピング①（原稿読み）	
⑦	ラジオCM①（原稿読み）		⑦	ラジオショッピング②（表現力）	
⑧	ラジオCM②（表現力）		⑧	ラジオショッピング③（客観的に聴く）	
⑨	ラジオCM③（客観的に聴く）		⑨	ラジオショッピング④（自己分析・評価）	
⑩	前期試験		⑩	ラジオ全体（自己評価・他人評価）	
⑪	ラジオCM④（自己分析・評価）		⑪	後期試験	
⑫	ラジオCM⑤（統括・実習）		⑫	フリートーク　実践	
⑬	ラジオ全体（課題・実習）		⑬	フリートーク　実践	
⑭	ラジオ全体（発表）		⑭	ラジオ全体（自己評価・他人評価）	
⑮	前期　復習		⑮	まとめ（全体統括・実習）	

準備学習 時間外学習	滑舌の練習を毎日してください。	評価方法	試験・出席率・授業態度を総合的に評価します。
受講生へのメッセージ	常にラジオを聞いて耳を鍛えてください。	使用教科書 教材 参考書	アクセント辞典

2022年度　授業シラバス

科目名	ラジオドラマ	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
グループに分け、模擬番組を作成＆授業内で発表、総括する。

【到達目標】
実際に15分から60分の番組ドラマを制作し、ラジオドラマ制作におけるスタジオワークを学んでもらう。

【教員の略歴】
現在、FM局にて数々の番組を担当し、ディレクターとして活躍。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介、番組概要説明 など		①	ラジオドラマ制作① 企画	
②	模擬番組制作① 企画		②	ラジオドラマ制作①	
③	模擬番組制作①		③	ラジオドラマ制作① リハーサル	
④	模擬番組制作① リハーサル		④	ラジオドラマ制作① 発表	
⑤	模擬番組制作① 発表		⑤	ラジオドラマ制作② 企画	
⑥	模擬番組制作② 企画		⑥	ラジオドラマ制作②	
⑦	模擬番組制作②		⑦	ラジオドラマ制作② リハーサル	
⑧	模擬番組制作② リハーサル		⑧	ラジオドラマ制作② 発表	
⑨	模擬番組制作② 発表		⑨	ラジオドラマ制作③ 企画	
⑩	模擬番組制作③ 企画		⑩	ラジオドラマ制作③	
⑪	模擬番組制作③　試験	前期試験	⑪	ラジオドラマ制作③ リハーサル　試験	後期試験
⑫	模擬番組制作③ リハーサル		⑫	ラジオドラマ制作③ 発表	
⑬	模擬番組制作③ 発表		⑬	ラジオドラマ　総評・アドバイス	
⑭	模擬番組　総評・アドバイス		⑭	1年間を振り返って	
⑮	前期のまとめ		⑮	プロの現場について	

準備学習 時間外学習	たくさんの番組に触れてください。	評価方法	番組制作を通じての評価はもちろん、チームワークを必要とする作業も多いので、試験や出席日数や連絡の有無、授業態度も評価対象とします。
受講生へのメッセージ	実践重視の授業です。様々なことを学んでいきますが、「プロの現場」と「授業で学ぶ内容」は同じことが多いので、卒業後、即戦力になるためにも高い意識を持って臨んでほしいです。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	MC＆リポート・実況	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

マイクを使用した実技。職業として言葉を駆使する。物語を読み解くということ。

【到達目標】

・MCとして、現場に応じた状況判断をして、円滑に進行を行えるスキルの習得。
・実践で活かせる、正しい言葉使いとアクセントの習得。
・朗読を通じ、文章の読み取り、話の構築、相手に伝える表現力を学ぶ。

【教員の略歴】

関西にてイベント司会、ナレーション、朗読、企業向け話し方指導などを中心に活動。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介・声チェック		①	MC：進行する①	
②	基本的文法・取り組み方		②	MC：進行する②	
③	短文を越えに出して読む①		③	MC：進行する③	
④	短文を越えに出して読む②		④	朗読基礎①	
⑤	短文を越えに出して読む③		⑤	朗読基礎②	
⑥	物語を理解する①		⑥	朗読基礎③	
⑦	物語を理解する②		⑦	朗読①	
⑧	物語を理解する③		⑧	朗読②	
⑨	物語を声に出して読む①		⑨	朗読③	
⑩	物語を声に出して読む②		⑩	朗読④	
⑪	物語を声に出して読む③		⑪	朗読⑤	
⑫	テスト	前期試験	⑫	テスト	後期試験
⑬	MC：マイクを通して話す		⑬	発表①	
⑭	MC：台本を読む①		⑭	発表②	
⑮	MC：台本を読む②		⑮	発表③	

準備学習 時間外学習	本をたくさん読んでください。	評価方法	出席・実技・レポート・授業態度・筆記テストで総合判断
受講生への メッセージ	誰にでも伝わる発音・発声を身に着け、 美しい日本語に興味を持ってください。	使用教科書 教材 参考書	アクセント辞典（必携）・国語辞典・手鏡

2022年度　授業シラバス

科目名	演技演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 （8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

1. 更なる基礎体力の向上 2. 舞台用語への理解　3. ミュージカル　4.演じる事の楽しさを学ぶ　5.譜読み　6.音楽的知識向上

【到達目標】

表現力を身につける。
演技・ダンス・歌を総合的に表現できるスキルを身につける。

【教員の略歴】

ミュージカル多数出演地方テーマパーク
メインシンガー パレードMC、その他Live出演。個人ヴォイストレーナー

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	目的意識向上　腹式呼吸法　表現力強化		①	腹式呼吸法　母音法　課題について	
②	腹式呼吸法　母音法　行動力強化		②	腹式呼吸法　母音法　歌唱基礎	
③	腹式呼吸法　柔軟基礎　表現力強化 試験課題練習		③	腹式呼吸法　母音法　コーラスワーク	
④	腹式呼吸法　リズム感　行動力強化 試験課題練習		④	腹式呼吸法　ダンス基礎　演技基礎	
⑤	腹式呼吸法　歌唱基礎　記憶力強化 試験課題練習		⑤	腹式呼吸法　協調性強化　感情表現	
⑥	腹式呼吸法　歌唱基礎　表現力強化 試験課題練習		⑥	腹式呼吸法　歌唱基礎　試験課題練習	
⑦	試験課題練習　腹式呼吸法　体力強化		⑦	腹式呼吸法　演技基礎　試験課題練習	
⑧	試験課題練習　腹式呼吸法　表現力強化		⑧	腹式呼吸法　歌唱基礎　試験課題練習	
⑨	腹式呼吸法　試験課題練習		⑨	腹式呼吸法 表現力強化 行動力 試験課題練習	
⑩	腹式呼吸法 母音法 試験課題練習		⑩	腹式呼吸法 ダンス基礎 体力強化 試験課題練習	
⑪	腹式呼吸法　母音法　ダンス基礎		⑪	後期試験	後期試験
⑫	腹式呼吸法　歌唱基礎　記憶力強化		⑫	目的意識の再確認　腹式呼吸法	
⑬	目的意識向上　腹式呼吸法　母音法		⑬	腹式呼吸法　母音法　課題について	
⑭	前期試験	前期試験	⑭	腹式呼吸法　母音法　歌唱基礎	
⑮	腹式呼吸法　母音法　行動力強化		⑮	腹式呼吸法　母音法　コーラスワーク	

準備学習 時間外学習	日々の鍛錬、基礎体力向上　柔軟性を高める事や 目的意識の確認授業内容の歌唱課題や振り付けの復習	評価方法	試験　出席率　受講態度　課題へ取り組む姿勢 集団行動能力　コミュニケーション能力の有無
受講生へのメッセージ	身体表現の大切さ舞台に立つ姿勢、 覚悟等心を動かす楽しさを共に学びましょう。	使用教科書 教材 参考書	ポップスやアニメソング、 映画音楽ミュージカル楽曲（ミス・サイゴン、美女と野獣等）

2022年度　授業シラバス

科目名	アテレコ・アフレコ演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 （8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

・アテレコの実践　　・マイクを効果的に使った表現方法　　・アテレコならではの演技技術
・キャラクター作り　　・スタジオマナー　　・マネージャー目線からのタレント

【到達目標】

・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。
・即戦力となる声優を目指す。

【教員の略歴】

・アニメ作品にメインキャラクターとして出演し、活躍中。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介		①	アニメアテレコ　作品w冒頭～序盤を使っての実践①	
②	基礎レッスン①		②	アニメアテレコ　冒頭～序盤を使っての実践②	
③	基礎レッスン②		③	アニメアテレコ　冒頭～序盤　発表	
④	基礎レッスン③		④	アニメアテレコ　冒頭～序盤　評価	
⑤	朗読		⑤	アニメアテレコ　序盤～中盤を使っての実践①	
⑥	朗読		⑥	アニメアテレコ　序盤～中盤を使っての実践②	
⑦	朗読		⑦	アニメアテレコ　序盤～中盤　発表	
⑧	朗読		⑧	アニメアテレコ　序盤～中盤　評価	
⑨	朗読		⑨	アニメアテレコ　中盤～後半を使っての実践①	
⑩	前期試験実習		⑩	アニメアテレコ　中盤～後半を使っての実践②	
⑪	アニメアテレコ 作品を使っての技能チェック①		⑪	後期試験実習	
⑫	アニメアテレコ　作品を使っての技能チェック②		⑫	アニメアテレコ　中盤～後半　発表	
⑬	アニメアテレコ　作品を使っての技能チェック　発表		⑬	アニメアテレコ　中盤～後半　評価	
⑭	アニメアテレコ　作品を使っての技能チェック　評価		⑭	プロの声優として	
⑮	まとめ　復習		⑮	総括	

準備学習 時間外学習	台本のチェック （読み方・アクセント・キャラ作りなど）	評価方法	学期ごとの試験 各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め総合的に評価する。
受講生へのメッセージ	まずはプロになる為の一歩を、しっかりとその身につけましょう！	使用教科書 教材 参考書	・アテレコ台本(授業時に配布) ・アクセント辞典(任意)

2022年度　授業シラバス

科目名	舞台表現演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 （8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

歌唱のためのストレッチ、身体や表情筋の使い方、腹式呼吸を基礎とした発声練習、またミュージカルソング等の課題曲を用いて舞台上で歌唱する際の表現力を鍛える

【到達目標】

ダンス＆ヴォーカルを研究・考察しパフォーマンス力の向上。またクラスでの作品作りを行うことで協調性・コミュニケーション能力の向上
チームワーク力を養うことを目的とする。

【教員の略歴】

ミュージカルを学んだのちに2007年に自劇団を旗揚げ。以降、関西を中心に舞台・TV・ラジオなどで脚本家・演出家・俳優として活動。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	歌唱のためのストレッチ①		①	歌唱のためのストレッチ③	
②	腹式呼吸の基礎知識と実践		②	腹式呼吸の応用	
③	発声のための正しい姿勢		③	発声のための筋力トレーニング	
④	基礎の発声練習①声量アップ		④	基礎の発声練習③リズムの取り方	
⑤	滑舌向上のための表情筋の鍛え方		⑤	課題③一回目・リズムを操るテクニック	
⑥	簡単な楽譜の読み方		⑥	課題③二回目・アップテンポにおける滑舌の意識	
⑦	課題①一回目・ブレスのテクニック		⑦	課題③三回目・表現の考察と実践	
⑧	課題①二回目・バラードで声に響きをつける		⑧	舞台上での歌唱における感情の繋げ方や立ち振る舞い	
⑨	課題①三回目・表現の考察と実践		⑨	課題④一回目・チェストボイスとヘッドボイス	
⑩	歌唱のためのストレッチ②		⑩	課題④二回目・短い台詞から歌唱に繋げる	
⑪	滑舌向上のための舌の鍛え方		⑪	課題④三回目・表現の考察と実践	
⑫	基礎の発声練習②ピッチの合わせ方		⑫	課題⑤一回目・ミックスボイスへのアプローチ	後期試験
⑬	課題②一回目・デュエットで会話のように歌う	前期試験	⑬	課題⑤二回目・ミュージカルのワンシーンを作る	
⑭	課題②二回目・声に厚みを持たせる		⑭	課題⑤三回目・表現の考察と実践	
⑮	課題②三回目・表現の考察と実践		⑮	基礎力・応用力のチェックと今後の目標設定	

準備学習 時間外学習	授業で行う基礎トレーニンングの反復と課題曲の予習・復習	評価方法	・自身のスキルを把握し、常に強みや改善点をみつけながら課題に取り組めているか　・歌唱、表現を楽しむ気持ちを常に忘れていないか
受講生へのメッセージ	舞台で自由に歌うためには声や身体の基礎力は勿論、表現力も大切になります。表現力を鍛えるためには先ずは楽しむこと。基礎＋自分のパフォーマンスを楽しむ余裕が出来れば、声や感情のコントロールも可能になり魅力的な歌唱につながります。楽しみながらスキルアップを目指しましょう	使用教科書 教材 参考書	動きやすい服装、上履き、飲料水、筆記用具

2022年度　授業シラバス

科目名	業界研修	必修選択	必修	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120（8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

・アテレコの実践　・マイクを効果的に使った表現方法　・発声滑舌
・キャラクター作り　・台本読解
・スタジオマナー

【到達目標】

・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。
・体と心を使い、さらに立体的な声の演技の習得。
・即戦力となる声優を目指す。

【教員の略歴】

東京：声優プロダクションに所属し声優としてまたマネージャーとして活躍。
大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中″

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	アテレコ用語・マイクワークの習得		①	アテレコ③・演習	
②	アテレコ①・キャスティングオーディション		②	アテレコ・③本番　録音	
③	アテレコ①・読み合わせ		③	アテレコ・③本番　録音	
④	アテレコ①・演習		④	アテレコ③(キャスト変更)・演習	
⑤	アテレコ①・REC		⑤	アテレコ・③本番　録音	
⑥	アテレコ①・REC		⑥	アテレコ・③本番　録音	
⑦	アテレコ②・キャスティングオーディション		⑦	アテレコ④・キャスト発表	
⑧	アテレコ②・演習		⑧	アテレコ④・演習	
⑨	アテレコ②・REC		⑨	アテレコ④・演習	
⑩	前期試験		⑩	アテレコ④・演習	
⑪	アテレコ③・キャスティングオーディション		⑪	後期試験	
⑫	アテレコ③・キャスティングオーディション		⑫	アテレコ④・演習	
⑬	アテレコ③・読み合わせ		⑬	アテレコ④・本番　録音	
⑭	アテレコ③・演習		⑭	アテレコ④・本番　録音	
⑮	アテレコ③・演習		⑮	アテレコ総括	

準備学習 時間外学習	アクセント・滑舌練習は言うまでもなく、物語・キャラクターの解釈をしたうえで、演じるキャラクターが「なぜ」その言葉を発するのか考える。 一度ダメ出しされた事を繰り返さない。考えてきた事を、形にできるように復習してくる事。ボイスレコーダーで録音し、自分の演技を客観的に聞く。	評価方法	学期ごとの試験 各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め評価する。 テストはオンエアされている作品レベルを基準とする。 それに対しどのレベルまで達成できているかで採点する。
受講生へのメッセージ	長所をプロで通じるレベルの武器に。 足りていない部分は、どう満たしていくのか。 ヒントは毎回のレッスンにあります。 自分で工夫して、考えて、行動して、結果を実感していきましょう。	使用教科書 教材 参考書	・アテレコ台本(授業時に配布)　・アクセント辞典 『実習』日…マイクを3本使用 『REC』日は下記録音機材を使用 （R44、SDカード、マイク3本、マイクケーブル3本、標準ピン2本） 記載のない日は機材の準備の必要なし

2022年度　授業シラバス

科目名	卒業制作	必修選択	必修	年次	2	学科	声優科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120（8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
・収録現場で求められる演技の習得
・外画を使った演技実習

【到達目標】
・プロの声優として、現場に立つためのアテレコ（アフレコ）スキル・心構え・現場マナーの習得
・即戦力となる声優を目指す。

【教員の略歴】
声優のマネジメントやキャスティング、映画の配給まで行う声優プロダクションに所属し声優としてさまざまな作品に出演。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	アフレコの流れ説明		①	収録本番を想定した演習	
②	収録題材を使っての演習		②	収録本番を想定した演習	
③	収録題材を使っての演習		③	題材を使用した演習　台本渡し	
④	収録題材を使っての演習		④	題材を使用した演習　班分け　ガヤの説明	
⑤	収録題材を使っての演習		⑤	題材を使用した演習　ガヤの実演	
⑥	収録題材を使っての演習		⑥	題材を使用した演習　ガヤの実演	
⑦	収録題材を使っての演習		⑦	題材を使用したAR演習	
⑧	収録題材を使っての演習		⑧	題材を使用したAR演習	
⑨	収録題材を使っての演習		⑨	アフレコ演習 作品A① 作品の説明と予習するよう説明	
⑩	収録題材を使っての演習		⑩	アフレコ演習 作品A① 作品　組み分け　①	
⑪	前期試験		⑪	後期試験	
⑫	キャストオーディション		⑫	アフレコ演習 作品A① 作品　組み分け　②	
⑬	キャストオーディション		⑬	アフレコ演習 作品A① 作品　実演	
⑭	収録題材を使っての演習		⑭	アフレコ演習 作品A① 作品　実演	
⑮	前期まとめ		⑮	まとめ	

準備学習 時間外学習	台本・使用教材の映像チェック （読み方・アクセント・キャラ作り、タイムコードなど）	評価方法	・試験・出席率 ・与えられた課題をクリアできているか
受講生へのメッセージ	プロになる為に絶対的に必要なことは、当たり前のことを地道に出来るかです。それを、しっかりと習慣づけられるようにしましょう！	使用教科書 教材 参考書	題材 ・配布台本 ・教材DVD